

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 日鍛バルブ株式会社  
 コード番号 6493 URL <http://www.niv.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 久雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小池 敏雄  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 0463-82-1311

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	26,813	—	2,386	—	2,605	—	1,168	—
20年3月期第3四半期	26,696	5.6	3,093	1.0	3,312	△3.4	1,560	△18.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	42.07	—
20年3月期第3四半期	59.12	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	42,070	28,329	28,329	60.0	873.21			
20年3月期	43,059	28,218	25,087	58.3	950.62			

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 25,226百万円 20年3月期 25,087百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
21年3月期	—	8.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,800	△12.8	1,350	△64.5	1,150	△72.2	100	△94.9	3.60

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 U.S.エンジンバルブ(パートナーシップ))

除外 1社(社名 新和精密株式会社)

(注) 詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	28,978,860株	20年3月期	26,478,860株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	89,310株	20年3月期	88,368株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	27,778,987株	20年3月期第3四半期	26,391,210株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した世界的な金融不安などの影響を受け個人消費や設備投資がさらなる鈍化をするなど、全体として景気の減速感が一段と強まる状況のなかでの推移となりました。世界経済におきましても、先進国における景気の鈍化や高成長を持続していた新興国の変調など、景気の減速感を強めております。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、アジア地域における生産・販売は依然拡大を持続しているものの、国内販売の低迷や北米市場における需要の冷え込みなど、厳しい局面を迎えております。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針の達成に鋭意取り組むとともに、引き続き、生産体制の合理化や海外事業展開の推進などの諸施策を積極的に展開してまいりました。

また、当社は、去る平成20年8月4日に発表しておりますとおり、今後のグローバル市場における事業戦略として、当社の技術力・製造力・改善力等を活かした世界規模での同一品質や世界一の価格競争力を持った製品供給体制の構築およびグローバル市場（主に欧米、アジア）における日系、韓国系メーカーへの販売力をより強化しシェアの拡大を図るため、長年にわたり継続的な提携関係にあるイトンコーポレーションとの関係について、より緊密でグローバルな協力体制を構築していくこととし、そのスキームとして、グローバル展開のマネジメントを目的とした新会社の設立や当社子会社等の資本構成の再編等を実施いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績としましては、売上高につきましては、当社グループの推し進める諸施策の成果に加え、船舶用製品の好調な推移により増収になりましたが、アジア地域における事業は現地通貨では堅調な推移をしており増収となっておりますが為替の影響等により減収になりました。利益面につきましては、営業利益・経常利益は、材料価格の高騰・減価償却費の増加によるコスト上昇や為替の影響等により減益となりました。

この結果、売上高は、268億13百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は、23億86百万円（前年同期比22.9%減）、経常利益は、26億5百万円（前年同期比21.3%減）、四半期純利益は、11億68百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## 〔自動車用部品〕

当事業におきましては、欧米向けおよびモータースポーツの二輪車用エンジンバルブおよびバルブリフターが市場の冷え込み等により減少いたしました。四輪車用エンジンバルブにつきましても、新機種の立ち上がりおよび量産化により増加しましたが、北米向けおよびモータースポーツ用製品が減少したことにより減少いたしました。また、アジア地域における需要は伸長し同地域向けの国内生産製品および海外拠点における現地生産製品は堅調に推移いたしました。NT-VC Pにつきましては、搭載車種拡大にともなう新機種の立ち上がりにより増加いたしました。

この結果、当事業の売上高は、211億28百万円（前年同期比1.8%減）となり、売上高の品種構成の変化と材料価格の上昇、及び減価償却費増加による諸経費の増加により営業利益は、19億30百万円（前年同期比29.4%減）となりました。

## 〔その他〕

当事業におきましては、北米向けの汎用製品、建設・産業機械用製品は市場の冷え込みにより低調となりましたが、造船業界の活況を背景とする需要の伸長により船舶用補給部品等の受注が拡大するなど船舶用関連製品は増加いたしました。機械設備につきましても、アジア生産拠点への販売が増加したことにより全体として増加いたしました。

この結果、当事業の売上高は、62 億 95 百万円（前年同期比 14.6%増）、営業利益は、1 億 16 百万円（前年同期比 48.6%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

## 〔日本〕

当社グループの主要な事業拠点である当所在地におきましては、四輪車用エンジンバルブにつきましても、新機種の立ち上がりおよび量産化により増加しましたが北米向けおよびモータースポーツ用製品が減少したことにより減少いたしました。二輪車用エンジンバルブにつきましても、欧米向けおよびモータースポーツ用製品が減少し低調となりました。バルブリフターにつきましても、北米市場の冷え込みによる海外向け製品の低迷により減少いたしました。陸上および船舶用エンジンバルブにつきましても、北米向けの汎用製品、建設・産業機械用製品が市場の冷え込みにより低調となりましたが、造船業界の活況により船舶用関連製品は増加いたしました。精密鍛造歯車につきましても、海外向けのトラック用製品が増加いたしました。NT-VC Pにつきましても、搭載車種拡大にともなう新機種の立ち上がりにより増加いたしました。

この結果、当所在地の売上高は、198 億 79 百万円（前年同期比 0.8%減）となり、売上高の品種構成の変化と材料価格の上昇、及び減価償却費増加による諸経費の上昇により営業利益は、2 億 90 百万円（前年同期比 60.8%減）となりました。

## 〔アジア〕

当所在地におきましては、内需の拡大および現地生産化の進展を背景に全般としては依然伸長を持続しております。自動車用エンジンバルブの生産拠点であるタイおよびインドネシアにおきましては、需要の拡大を背景とする受注の増加により堅調な事業展開となりました。バルブリフターの生産拠点である韓国におきましては、第 2 四半期末に連結除外になりましたので現地通貨での変動はありません。しかし、急速な円高の進行により現地通貨の邦貨換算による差額が生じ、売上高の邦貨換算額が減少いたしました。

この結果、当所在地の売上高は、65 億 91 百万円（前年同期比 8.8%減）、営業利益は、16 億 84 百万円（前年同期比 6.3%減）となりました。

## 〔北米〕

自動車用エンジンバルブの生産拠点である当所在地におきましては、米国経済の減速による影響が懸念されるなか第 2 四半期末より U.S. エンジンバルブ（パートナーシップ）が連結対象になったことにより第 3 四半期より損益計算書を取り込むことになりました。

この結果、当所在地の売上高、18 億 40 百万円、営業利益は、4 億 21 百万円となりました。なお、当所在地の第 2 四半期までの売上高は、投資利益を売上高に計上しているため営業費用は計上しておりません。

※前年同期比は参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産は、420億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億88百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は、155億66百万円となり、前連結会計年度末と比較して25億75百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が10億69百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、265億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億86百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が13億31百万円増加したこと及び、U.S.エンジンバルブ（パートナーシップ）の持分の一部を取得したことに伴い、のれんが発生し無形固定資産が12億94百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部では、流動負債は、99億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億16百万円の減少となりました。この主な要因は、短期借入金が増加しましたが、仕入債務が15億84百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、38億39百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億83百万円減少しました。この主な要因は繰延税金負債が8億74百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の部では、283億29百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億10百万円増加となりました。この主な要因は第三者割当増資に伴い、資本金及び資本剰余金が増加したことであり、それぞれ7億38百万円増加したことなどによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は14億37百万円となり前連結会計年度末と比較して6億35百万円減少しました。

営業活動により得られた資金は、25億13百万円となりました。その主な要因は税金等調整前当期利益が25億75百万円になったことによるものであります。

投資活動により使用した資金は、53億83百万円となりました。その主な要因は有形固定資産の取得による支出と連結子会社の株式取得によるものであります。

財務活動により得られた資金は、24億7百万円となりました。その主な要因は株式の発行によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想は、第3四半期の実績と今後の受注動向から修正しております。詳細につきましては、平成21年1月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動）

当社グループ再編に伴い、当第3四半期連結累計期間において下記のとおり重要な子会社（孫会社）の異動がありました。

①新和精密株式会社の株式の一部をEaton Holding II S.a.r.l（米国イートンコーポレーション100%出資子会社）へ譲渡することにより同社に対する出資比率を変更いたしました。これにより、同社は連結子会社から持分法適用の関連会社へ異動いたしました。

②投資会社であるU.S.エンジンバルブコーポレーション（当社100%出資子会社）が、U.S.エンジンバルブ（パートナーシップ）の持分の一部をEaton USEV Holding Company（米国イートンコーポレーション100%出資子会社）より取得することにより同社に対する出資比率を変更いたしました。これにより同社は連結子会社（孫会社）へ異動いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第 3 四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第 3 四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前第 2 四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異などの発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

④固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却方法で定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

⑤経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

①法人税等の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(4) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価基準および評価方法

当第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日)が適用されたことに伴い、今まで主として総平均法による原価法から主として総平均法による原価法(貸借対照表については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更して算定しております。

これにより、当第 3 四半期連結累計期間の損益計算書に与える影響はありません。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第 1 四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第 18 号 平成 18 年 5 月 17 日)を適用しております。

これにより、当第 3 四半期連結累計期間の損益計算書に与える影響はありません。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,437,123	2,507,027
受取手形及び売掛金	7,065,198	8,497,749
製品	2,258,698	2,043,939
原材料	1,813,220	1,808,544
仕掛品	1,520,103	1,773,678
貯蔵品	521,310	634,720
繰延税金資産	320,461	265,390
その他	633,916	631,865
貸倒引当金	△3,264	△20,191
流動資産合計	15,566,767	18,142,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,832,816	4,888,633
機械装置及び運搬具(純額)	7,387,971	7,608,469
土地	2,292,631	1,889,453
建設仮勘定	703,641	394,798
その他	391,353	496,022
有形固定資産合計	16,608,414	15,277,377
無形固定資産		
のれん	1,294,063	—
その他	54,548	70,793
無形固定資産合計	1,348,612	70,793
投資その他の資産		
投資有価証券	6,838,480	7,350,518
出資金	940	1,000,790
長期貸付金	1,161,350	597,643
繰延税金資産	337,869	385,531
その他	208,096	241,823
貸倒引当金	—	△7,689
投資その他の資産合計	8,546,736	9,568,618
固定資産合計	26,503,763	24,916,789
資産合計	42,070,531	43,059,514

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,928,354	5,512,835
短期借入金	3,291,330	1,325,710
未払法人税等	253,361	430,074
繰延税金負債	444,002	513,212
賞与引当金	160,451	404,159
役員賞与引当金	—	63,960
その他	1,824,662	2,068,652
流動負債合計	9,902,164	10,318,604
固定負債		
長期末払金	100,762	122,750
長期借入金	874,000	548,500
繰延税金負債	321,627	1,196,270
退職給付引当金	2,542,749	2,654,642
固定負債合計	3,839,139	4,522,163
負債合計	13,741,303	14,840,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	3,791,793
資本剰余金	4,506,958	3,768,258
利益剰余金	15,534,508	14,808,002
自己株式	△44,926	△44,575
株主資本合計	24,527,083	22,323,478
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,639,819	2,982,441
為替換算調整勘定	△940,358	△218,587
評価・換算差額等合計	699,460	2,763,854
少数株主持分	3,102,683	3,131,414
純資産合計	28,329,227	28,218,746
負債純資産合計	42,070,531	43,059,514

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	26,813,383
売上原価	22,437,471
売上総利益	4,375,911
販売費及び一般管理費	1,989,083
営業利益	2,386,828
営業外収益	
受取利息	41,872
受取配当金	152,564
為替差益	50,073
雑収入	23,990
営業外収益合計	268,500
営業外費用	
支払利息	42,904
手形売却損	823
持分法による投資損失	671
雑損失	5,328
営業外費用合計	49,727
経常利益	2,605,601
特別利益	
貸倒引当金戻入額	5,738
有形固定資産売却益	4,837
関係会社株式売却益	32,241
持分変動利益	58,150
特別利益合計	100,967
特別損失	
有形固定資産売却損	27,160
有形固定資産除却損	29,333
投資有価証券評価損	14,858
本社工場再整備費	59,630
特別損失合計	130,982
税金等調整前四半期純利益	2,575,586
法人税等	728,641
少数株主利益	678,196
四半期純利益	1,168,749



## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自平成20年4月1日  
 至平成20年12月31日)

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益	2,575,586
減価償却費	2,012,887
のれん償却額	68,108
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,310
退職給付引当金の増減額(△は減少)	115,771
受取利息及び受取配当金	△194,437
支払利息	42,904
関係会社株式売却損益(△は益)	△32,241
持分変動損益(△は益)	△58,150
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	51,655
売上債権の増減額(△は増加)	924,222
たな卸資産の増減額(△は増加)	△71,332
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,377,907
未払消費税等の増減額(△は減少)	45,882
その他	△736,288
小計	3,354,351
利息及び配当金の受取額	187,594
利息の支払額	△46,610
法人税等の支払額	△981,353
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,513,982

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の預入による支出	△213,780
定期預金の払戻による収入	264,940
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,496,431
有形及び無形固定資産の売却による収入	6,729
投資有価証券の取得による支出	△1,268,187
子会社株式の売却による収入	149,506
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,885,959
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	583,595
長期貸付けによる支出	△122,738
長期貸付金の回収による収入	623,908
その他	△24,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,383,092

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	7,876,864
短期借入金の返済による支出	△5,877,000
長期借入れによる収入	650,000
長期借入金の返済による支出	△241,402
株式の発行による収入	1,477,500
自己株式の取得による支出	△642
配当金の支払額	△418,064
少数株主への配当金の支払額	△1,059,757
その他	241
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,407,737
現金及び現金同等物に係る換算差額	△174,472
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△635,843
現金及び現金同等物の期首残高	2,072,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,437,123

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表等規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 3 四半期連結会計期間 (自 平成 20 年 10 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日)

	自動車用部品 (千円)	その他 (千円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	21,128,910	5,684,472	26,813,383	—	26,813,383
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	611,138	611,138	(611,138)	—
計	21,128,910	6,295,611	27,424,521	(611,138)	26,813,383
営業利益	1,930,967	116,037	2,047,004	339,823	2,386,828

(注) 1 事業区分の方法

製品の種類、類似性を考慮して決定しております。

2 各事業区分に属する主要業務

自動車用部品・・・自動車用エンジンバルブ、自動車用精密鍛造歯車、バルブリフター、NT-VCP 他製造販売

そ の 他・・・陸船用エンジンバルブ、農業・建設機械用精密鍛造歯車、高圧洗浄、シリンダーヘッドの修理、他

## 【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	18,788,358	6,184,611	1,840,412	26,813,383	—	26,813,383
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,091,511	407,069	—	1,498,581	(1,498,581)	—
計	19,879,870	6,591,681	1,840,412	28,311,965	(1,498,581)	26,813,383
営業利益	290,188	1,684,763	421,903	2,396,855	(10,027)	2,386,828

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
アジア…台湾、韓国、インドネシア、タイ  
北米…アメリカ
- 3 北米の第2四半期連結累計期間まではU.S.エンジンバルブコーポレーションはパートナーシップへの投資を行っており投資利益を売上高に計上しており、営業費用は計上しておりません。  
なお、第2四半期連結会計期間末にU.S.エンジンバルブ(パートナーシップ)が連結子会社となり、当該会社の業績を当第3四半期連結会計期間より含めておりません。

## 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	アジア	ヨーロッパ	北米	連結
I 海外売上高(千円)	6,502,615	1,788,501	1,859,932	10,151,049
II 連結売上高(千円)				26,813,383
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	24.3	6.7	6.9	37.9

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 2 各区分に属する主な国又は地域  
アジア…台湾、韓国、中国、インドネシア、タイ他  
ヨーロッパ…スウェーデン、ドイツ、フィンランド、イタリア、フランス他  
北米…アメリカ他
- 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域の売上高であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当社は、平成20年8月19日付で、イトンコーポレーションから第三者割当増資の払い込みを受けました。この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金が738,750千円、資本準備金が738,750千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,530,543千円、資本剰余金が4,507,008千円となっております。

## 【参考】

## 前第3四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
売上高	26,696,242
売上原価	21,782,334
売上総利益	4,913,907
販売費及び一般管理費	1,819,947
営業利益	3,093,959
営業外収益	
受取利息	25,594
受取配当金	228,759
雑益	36,306
営業外収益合計	290,661
営業外費用	
支払利息	38,591
為替差損	7,691
雑損	25,987
営業外費用合計	72,270
経常利益	3,312,350
特別利益	
貸倒引当金戻入益	606
固定資産売却益	20,080
特別利益合計	20,687
特別損失	
固定資産除売却損	39,199
本社工場再整備費	170,015
特別損失合計	209,215
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	3,123,821
法人税、住民税及び事業税	715,819
法人税等調整額	262,102
少数株主利益	585,659
第3四半期(当期)純利益	1,560,239

## 前第 3 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第 3 四半期 (当期) 純利益	3,123,541
減価償却費	2,082,209
貸倒引当金の増減	800
退職給付引当金の増減	△ 45,367
受取利息及び受取配当金	△ 254,354
支払利息	38,591
為替差損益	△ 13,613
有形・無形固定資産除売却損益	19,119
売上債権の増減	△ 199,482
たな卸資産の増減	△ 1,481,411
仕入債務の増減	633,749
未払消費税等の増減	△ 4,351
その他	△ 19,213
小計	3,880,218
利息及び配当金の受取額	258,437
利息の支払額	△ 37,016
法人税等の支払額	△ 624,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,476,650
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 343,487
定期預金の払戻による収入	612,486
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 2,874,640
有形・無形固定資産の売却による収入	41,491
投資有価証券の取得による支出	△ 139,615
その他	△ 246,918
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,950,683
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入の増減	591,231
長期借入の借入による収入	280,000
長期借入の返済による支出	△ 299,601
自己株式の売却による収入	118
自己株式の取得による支出	△ 1,080
配当金の支払額	△ 400,717
少数株主への配当金の支払	△ 281,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 111,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,711
現金及び現金同等物の増加額	424,477
現金及び現金同等物の期首残高	1,756,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,180,826